

# 上目黒小の風

子どもが主役の楽しく学び合う学校

目黒区立上目黒小学校校長室

平成21年12月9日 第13号

校長 岡部良美

『よさを学び合い、高め合い、自信を深める』期・『みがく』ステージ

## 連 合 音 楽 会 出 演 5 年

合唱「大切なもの」・合奏「アフリカンシンフォニー」

めぐろパーシモンホール 12月4日

5年生は上目黒小学校の代表として、目黒区小学校連合音楽会に出演しました。

58名の子どもたちは9月から練習を始めました。音楽担当の小藤主任教諭を始め、担任の坂教諭・山崎教諭のチームによる指導により、日々子どもたちのやる気と向上心を高め、本番を迎えることができました。早朝練習や土曜日練習、そして夏休み中の練習もありました。保護者の皆様のご協力にも心から感謝しています。

昨日まで、校長室廊下のかみめの子掲示板に、連合音楽会に向けた子どもたちの決意文を掲示していましたが、本日より、連合音楽会ですばらしい演奏をした瞬間の感想文を掲示しています。展覧会にお越しの際には、ぜひご覧ください。ここで、いくつか紹介します。

パーシモンホールは学校の体育館と比べものにならないくらい広かった。音も倍響いて、本当に演奏できるか心配だったけど、舞台に立ってみるとあまり緊張しなくて、笑顔でやる余裕があって、練習と同じように演奏できた。すべて終わった後、私は達成感がすごくて、「よかった」と思った。

待ちに待った連合音楽会の日でした。演奏している時は失敗するのではないかと、とても緊張しましたが、失敗せずに終わったときは、「やった。」と思いました。緊張しましたがとても楽しかったです。

12月4日、今日は連合音楽会がありました。本番はとても緊張して失敗しそうだったけど、しっかりと合唱と合奏ができて、後悔もなく大成功だったので良かったです。これからも目標に向かってがんばりたいです。

観客のいるホールの中央を見た時、私は体が熱くなった。そう、待ちに待った上目小の連合音楽会が始まった。それからピアノが鳴り始め、心臓は「ドキドキ。」そして私は歌った。観客に私達の思いが伝わるように。私は初めてホールに立つのになぜか体がゆれていて、とても気分がよかった。それから友達のドラムが始まり、アフリカンシンフォニーが始まった。最後の力をふりしぼって。その時の気分は今までよりも、もっともっと気持ちがよくてたまらなかった。本当に連合音楽会は楽しかった。

いよいよ本番がやって来た。小藤先生が指揮棒をふった時、ピアノが流れた。その時、頭の中で全校のみんなに「がんばります」とちかったことを思い出した。だから全力を出して歌った。指揮棒が止まった時、ほっとした。演奏をまちがえずに今まで一番よい演奏ができ、満足できた。

小藤先生が指揮棒を上げたしゅん間、私は「始まるんだな。」と思った。そして始まったとき、私は緊張して手がふるえた。でも、だんだん慣れてきてキーボードがふつうにひけるようになった。そしてアフリカンシンフォニーをやり終わった、みんなの気持ちが一つになったと思いました。

学校から出たときは、ぜんぜん緊張していなかったけれど、本番になってすごく「ドキドキ」になりました。合奏が終わって小藤先生の指揮が下がった時、「終わったな」と思いました。まちがえずに、合唱、合奏ができて良かったです。

舞台上がって、演奏が始まったしゅん間、頭の中が真っ白になりましたが、しっかり演奏しようがんばりました。夢中でトライアングルをたたいていたら、あっというまに終わってしまいました。みんなと演奏できて良かったです。

ドキドキ。ぼくが緊張した時には、もう前の人たちが終わっていた。ぼくは入場する時、無愛想な顔だったと思う。だけど、歌を歌うときは一生けん命笑顔を作り、歌は大成功した。合奏は指揮を見てうまくやれた。終わった後に、ぼくは、世界一、いや宇宙一の合奏ができてうれしかった。そして帰りに電車に乗っていて、「ぼくや仲間たちの力は無限だな」と思った。

ぼくは、最初の時はとても不安でした。パーシモンホールに着くまでは。  
本番はミスをせずに、自分の力を全て発揮しました。歌も上手に歌えました。「もしかしたら、上手？」これからもがんばります。

ぼくの胸は、とてもドキドキしていました。あまりにも緊張していたため、気がついたら舞台の上で歌っていました。歌っていくうちに緊張もとけていました。合奏の時は、指揮も見られたし、今まで以上にうまくできました。学校に帰る途中、パーシモンホールを出ると、そこにいた人が拍手をしてくれたので、うれしかったです。学校に帰って、「ああ、もどってきた。」と言いました。これからも演奏や合奏をうまくなれたらいいと思います。

私は、最初のあいさつ・ピアノ・アルトホルンを担当しました。最初のあいさつは少しつかえたけれど、なんとか最後まで言いました。次のピアノはまるで歌っているかのようにひいている自分をイメージしてひきました。最後のアルトホルンは今までの練習の成果を出し切って顔が真っ赤になってしまいました。そして、それを吹き飛ばすように吹きました。終わってからも、心臓がバクバクいっていました。この日は、他の学校のすばらしい演奏を聞くことができ、また今までの練習の成果を十分に出し切ることができたので、六年生になっても悔いはないと思います。そして、いつまでも自分の心の中に残っていると思います。

合唱の歌声は、高い音がよくのびて、きれいに響いていました。

合奏からは、力強く、アフリカの大草原に生きる動物たちの姿を感じさせられました。

「どうしよう。」や「まちがえるかも。」と私は私達の出番の時までずっと思っていました。そんな時、先生が「にっこりね。」とか「笑顔でね。」とか言って私たちをはげましてくれました。私は、先生のおかげで勇気もてました。歌を歌っている時、私はアルトをすごくきれいな声で先生の指揮を見ながら歌うことができました。その後のアフリカンシンフォニーもリズムカルに最初から最後まで吹くことができました。私は最初から最後まで、みんなの気持ち・心が一つになってまとまりよく歌や演奏ができたなと思いました。

ぼくは、連合音楽会の時から、ドキドキしていました。あと、ワクワクしていました。出番になると緊張感でいっぱいになってしまいましたが、うまくできたので、ほっとしてうれしかったです。

「プログラム五番、上目黒小学校です。」そう司会の人が出た時、私はもう胸が飛び出しそうになりました。お客さんが米つぶみたいに小さく見えて、もっと緊張しました。そして、ドキドキしながら、歌を歌いだすと、ふしぎなくらい気持ちが楽になって、歌っている時には、9月からの練習の日々が思い出されました。そのあと、「アフリカンシンフォニー」も順調に進み、今までの中で最高の演奏だと思いました。

私は、合奏の「アフリカンシンフォニー」のCDを初めて聞いた時は、絶対にできないと思っていました。休み時間などに練習をたくさんしてできるようになりました。そして、他の人の音も聞こえるようになりました。しかし、どうしても最後のところだけは、本番でもできませんでした。私は全部できなかったことがとてもくなくて、できないところはたくさん練習したほうがいいと思いました。合唱は最初、他のパートにつられていたけど、CDをよく聞いて本番までには、他のパートにつられずにまちがえずに歌えたのでよかったです。私はみんなの心が一つになったから成功したと思います。だから、みんなの心が一つになることはとても大切だと思いました。

ご感想等がございましたら、校長室までご連絡をいただければ幸いです。

『上目黒小の風』は、学校ホームページでもご覧になれます。